

## 目的

- 1) ヒートアイランド現象の影響を把握する。
- 2) 場所ごとの暑さの違いを把握する。

## 実施方法

- ・市街地と郊外にある高等学校をそれぞれ1地点選定し、温湿度やWBGT値等の測定を行う。
- ・それぞれの学校ごとに、暑さが違うであろう地点を10地点選び、測定を行う。  
(階数や日あたりを考慮して、屋内と屋外で測定を行う。)
- ・数種類の機器を使用する。(機器間の値の差を比較するため)

## データの整理・分析

- ・市街地と郊外で値の差を比較する。
- ・設置場所による値の違いを比較する。
- ・気象庁観測地点で提供されているWBGT値と測定値を比較する。
- ・熱中症搬送者数データとWBGT値との関連を考察する。

## 設置のようす



# 令和3年度国民参加による気候変動情報収集・分析事業

## 香川県

### 気候変動影響情報収集

- 1) 農業士等を対象とした県内農産物に関するアンケート調査及びヒアリング調査による情報収集
- 2) 県民向けワークショップによる情報収集
- 3) 熱中症予防・暑熱対策に向けた情報収集
- 4) 県政モニターや環境イベントを活用した県民向けアンケート調査による情報収集

- ・ 本県の気候変動影響に関する特徴的な事例や地域の特性に応じた適応策について情報収集し、現状を把握する。
- ・ 暑さ指数、温湿度等を実測することにより、きめ細かなデータを収集し、本県特有の気象条件や地理的条件の把握に努めるとともに、地域の実情に応じた適応策を推進するための一助とする。

### 実施体制

環境省



香川県  
香川県気候変動適応センター  
(香川県の庁内組織)

### 分析・整理

- ・ 論文・文献調査
- ・ 専門家（国立環境研究所、大学、県内試験研究機関等）へのヒアリングによる妥当性の確認

### 普及啓発等

- ・ 普及啓発用リーフレットの作成及び配布
- ・ 地球温暖化防止活動推進員や保険会社等を活用した県民、事業者への普及啓発
- ・ 県適応センターホームページでの公表及び庁内関係課への情報提供

### スケジュール

※準備期間を含む

